

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	医学史	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	教科書（柔道の資料 柔道整復理論 -社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。				
担当教員情報					
担当教員	宮本 功三		実務経験の有無・職種	有・柔道整復師	
学習目的					
現代の柔道整復術は、我が国古来の武道、特に柔術の上に構築された江戸時代の接骨の輝かしい伝統が基礎となっていることが特徴であり、「武道」の伝統と精神とともに、柔道整復術の大きなバックボーンであるということを理解させることを目的とする。柔道整復師の沿革、現状、進むべき方向性について理解させ、また柔道により、柔道整復の源を学ぶとともに、健全な身体の育成および礼節をわきまえた人格の形成、柔道の技能に習熟するだけでなく、柔道の歴史や基礎知識（歴史や理論）を理解させることを目的とする。					
到達目標					
学生が、将来医療従事者を目指していくなかで、医学の現状と社会的な役割を理解させていくことを目的としている。医療とは何か、そして柔道整復術とは何かを十分に理解させることを目標にしている。柔道整復術の歴史は古く、武道、特に柔術から発展した柔道と結びつくことで、柔道と柔道整復術を相互に関連付けをしていながら将来医療の社会に求められる柔道整復師となるために必要な知識を理解させることを目標にしている。					
教育方法等					
授業概要	柔道整復術および柔道整復師の沿革を理解し、柔道についての歴史、礼法、審判規定などを理解する。柔道整復師と柔道、柔道整復術の現代的意義を理解する。				
注意点	医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	柔道整復術及び柔道整復師の沿革①		医療の起源と発展 柔道整復の基本理念の成立について理解する		
2回	柔道整復術及び柔道整復師の沿革②		江戸時代接骨術への影響～明治時代について理解する		
3回	柔道整復術及び柔道整復師の沿革③		柔道整復術の公認 柔道整復師法の成立について理解する		
4回	柔道整復術及び柔道整復師の沿革④		柔道整復師法の大改正について理解する		
5回	柔道整復術及び柔道整復師の沿革⑤		柔道整復術の現代的意義について理解する		
6回	柔道整復術及び柔道整復師の沿革⑥		柔道整復の業務範囲と柔道整復術について理解する		
7回	柔道整復術及び柔道整復師の沿革⑦		柔道整復師としての心得と職業倫理についてを理解する		
8回	1回から7回の振り返り		1回～7回の知識が蓄積されているか確認する		
9回	柔道の原理・歴史①		柔道整復師と柔道① 接骨術と柔道の教授について理解する		
10回	柔道の原理・歴史②		柔道整復師と柔道② 柔道の技、構え方などの体技について理解する		
11回	柔道の原理・歴史③		柔道整復師と柔道③ 武道としての柔道について理解する		
12回	柔道の原理・歴史④		柔道整復師と柔道④ 活法と殺法について理解する		
13回	柔道の原理・歴史⑤		柔道整復師と柔道⑤ 柔道整復術の特異性について理解する		
14回	9回から13回の振り返り		9回～13回の知識が蓄積されているか確認する		
15回	半期の総括		全体のまとめ		